

(応募二〇二六句)

あさがおはおそらのいろににているよ 高山小 一片桐美奈
さくらんほたべるとあまいもう一つ 豊洲小 二吉池優花
かぶと虫ほくが見つけた大ものだ 豊洲小 二坂口大和
いそぎ足おうちのいちご赤いかな 高山小 二山崎海琉

ふうりんがかぜといつしょにおどつてる 桂ノ井原 三月岡桃子

すいかたべしゃかしゃか音するゝ三時 森上小 三佐々木真愛
せんぱうきみんなに風をおとどけ中 豊洲小 三住家愛理
ひまわりが空に向かつてせのひする 豊洲小 三原 優太
ひまわりがわたしを見ててわらつてた高山小 三増田花乃
しきつめくわたしのとくいなくひかざり高山小 三畔上 涼
きもだめしどきどきしながら 一歩ずつ 豊洲小 四應永佳花
木の上のせみのなき声聞きあてる 豊洲小 四高橋尚真

かぶと虫つのがじまんのオスみつけ 高山小 四鎌倉 一羽
みずばしよう白いドレスの女の子 高山小 四渡邊琉戻

つゆあけずすぶりのバットに雨ボツリ 真島小 五岩倉康生
えだまめの仲良いおうち三兄弟 真島小 五閑口夏海穂

ふうりんの音色をきいてひるねかな 昭和小 五鈴木雪乃

雨上がり夏の大空竜の橋

栗ヶ丘小 五 小林正典

われわれはうちゅう人だと扇風機 高山小 五浅川達海

うとうととせみなく声は夢の中

山の木々新緑になり命燃ゆ

豊洲小六塚田杏香里

ひらひらと桜の花が手のひらに

高山小六宮下凱地

風景が染まりゆくかな草紅葉

高山中一涌井明澄

バラの花風をかすめて散りそむる

高山中一黒岩芽生

空青く飛行機雲が描く夏

高山中二江守彩夏

夏休み部活終わりの水遊び

高山中二武田采子

見あげれば桜と重なる五重の塔

常盤中三中沢あかり

飛行機がかき分け泳ぐ夏の空

相森中三大口元都

願い込め見つめる先に天の川

相森中三黒岩大柳

スーパーのバイナップルから香る夏
太空にひまわり一つ咲きにけり

相森中三竹本暎子

日をあびて色鮮やかに夏野菜

墨坂中三市川さくら

決意持ちひまわりとともに上を向く

墨坂中三保科ひな乃

祖母ゆてるひやむぎ量が多すぎて

墨坂中三片桐実菜子

目が合つて花火がきれいとまかした

墨坂中三百瀬雄一郎

おちるなど線香花火とにらめっこ

墨坂中三北堀春奈

汗ながしボールと夢をおしかけた

墨坂中三持田美優

縦刈りの音でとひだす赤トンボ

高山中三田中悠真

夏休み勉強課題休みなし

高山中三黒岩侑生